

# 營業報告

2016年4月1日～2016年9月30日

第58 期中間報告書

## 目次

- 01 株主の皆様へ
- 02 トピックス
- 03 当第2四半期の業績について
- 07 当第2四半期の概況
- 09 株式に関する事項
- 10 会社概要

## 株主の皆様へ

message

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第58期第2四半期(2016年4月1日～2016年9月30日)における連結決算の概要をご報告申し上げます。

当期における経営環境は、雇用や所得環境の改善傾向が続くなど緩やかな回復基調で推移しておりますが、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。また、当社グループに関連深い半導体製造装置業界におきましては、大手半導体メーカーの次世代プロセス関連の設備投資が継続しており、概ね順調に推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループは顧客満足度の更なる向上のために、市場ニーズを先取りした新製品の投入によりお客様の装置の競争力向上に貢献するとともに、品質面で更なる微細化への対応のため、最新検査装置の導入と工場のクリーン化の他、新たな市場および成長事業の開拓に取り組んでおります。

株主の皆様におかれましては、引き続きより一層のご理解と力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

広光 勲

## 第58期第2四半期 トピックス

当第2四半期は、中期経営計画の「シンプルとスピード」による積極的な経営資源の投入で、新製品開発と新たな分野への展開を実現することができました。

「組込み製品」は、好評の高速アナログ/デジタル入力ボードの更なる高速化、検査分野で幅広く採用いただく「画像処理製品」では、見えないモノを見る近赤外線カメラのシリーズ化、画像処理部にGPU（Graphics Processing Unit）を採用したユニークな画像処理ボード製品開発、「計測通信製品」では、光を媒体としたGiGA CHANNELシリーズの製品シリーズ化を進めてまいりました。

また「双方向デジタル制御電源装置」では、50KW系統連係インバータや無電化地域への電力供給として系統に接続しない風力発電独立電源装置の開発、「電話回線接続装置」や「遠隔監視装置」のシリーズ化を進めてまいりました。

引き続きの継続テーマではありますが、医療・薬剤・食品業界、電力・鉄道・船舶・車両といった新たな分野への積極的な提案営業による開発案件の取込み、また東アジア諸国への戦略製品の市場展開も進みつつあります。

そして、新たな業務資本提携先である東京エレクトロデバイス株式会社と共同で、新たな市場や成長事業の開拓を始めてまいります。



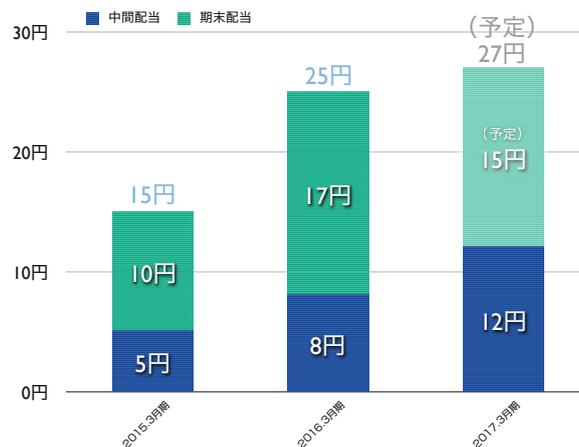
Camera Link 画像入力処理モジュール  
APX-3323GPU  
NVIDIA製/高性能GPU「Jetson TX1」を採用  
様々な前処理機能を搭載できる  
Camera Link I/F対応画像入力処理ボード

## 第58期 中間配当の実施について

当社は、将来の企業価値向上に向けた事業投資に伴う中長期的な資金需要や財務状況の見通しなどを総合的に勘案し、連結配当性向35%を基本に安定的な配当にも考慮しつつ、株主の皆様への成果配分を行っております。

当期の配当金につきましては、このような基本方針のもと、既に発表のとおり中間配当を1株当たり12円とさせていただきます。

なお、期末配当は1株当たり15円とし、通期配当金は27円(前期実績25円)を予定しております。



## 当第2四半期の業績について（連結）

中国をはじめとするアジア新興国の経済成長の減速や急速な円高・株安の進行に加え、英国のEU離脱問題がもたらす海外経済への影響等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いておりますが、雇用や所得環境の改善傾向が続くなど緩やかな回復基調で推移しております。

当社グループに関連深い半導体製造装置業界における、大手半導体メーカーの次世代プロセス関連の設備投資が継続するなか全般的な産業用装置における設備投資は回復基調にあり、受託製品、産業用制御機器および自社製品、画像処理モジュール関連が順調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期の売上高は3,573百万円（前年同期比7.9%増）、効率的な研究開発活動を行ったこと等により、営業利益は329百万円（前年同期比22.4%増）、経常利益は346百万円（前年同期比18.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は237百万円（前年同期比19.7%増）となりました。

### 損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前期	当期
	2015年4月1日～ 2015年9月30日	2016年4月1日～ 2016年9月30日
売上高	3,311	3,573
売上原価	2,212	2,354
売上総利益	1,098	1,219
1 ← 販売費及び一般管理費	829	889
営業利益	269	329
営業外損益	24	17
経常利益	293	346
親会社株主に帰属する 四半期純利益	198	237

**1** 販売費及び一般管理費889百万円には今後の製品展開のための研究開発及び広告宣伝の費用390百万円が含まれております。

**2** 現金及び預金91百万円、受取手形及び売掛金50百万円が、それぞれ増加し、電子記録債権101百万円、有価証券10百万円、たな卸資産53百万円、その他が主に未収入金の減少等により12百万円が、それぞれ減少した結果、34百万円減少し7,390百万円となりました。

**3** 有形固定資産が37百万円増加し、無形固定資産8百万円、投資その他の資産が投資有価証券の取得による増加並びに時価変動の影響による減少等により14百万円が、それぞれ減少した結果、13百万円増加し3,364百万円となりました。

**4** 支払手形及び買掛金39百万円、1年内返済予定の長期借入金11百万円が、それぞれ増加し、未払法人税等34百万円、賞与引当金9百万円、役員賞与引当金13百万円、その他が未払消費税等および前受金の減少等により94百万円が、それぞれ減少した結果、101百万円減少し1,519百万円となりました。

## 貸借対照表（要旨）

(単位：百万円)

科目	前期年度末	当期
	2016年3月31日現在	2016年9月30日現在
■資産の部		
<b>2</b> ← 流動資産	7,424	7,390
現金及び預金	3,941	4,033
受取手形及び売掛金	1,354	1,405
電子記録債権	455	354
商品及び製品	381	386
仕掛品	277	308
原材料及び貯蔵品	769	681
その他	243	221
<b>3</b> ← 固定資産	3,351	3,364
有形固定資産	2,081	2,118
無形固定資産	67	58
投資その他の資産	1,202	1,187
投資有価証券	1,148	1,135
その他	53	53
資産合計	10,776	10,755

**5** 長期借入金25百万円、退職給付に係る負債9百万円、その他が繰延税金負債の減少等により11百万円が、それぞれ減少した結果、48百万円減少し250百万円となりました。

(単位：百万円)

科目	前期年度末	当期
	2016年3月31日現在	2016年9月30日現在
■負債の部		
<b>4</b> ← 流動負債	1,620	1,519
支払手形及び買掛金	849	888
その他	770	628
<b>5</b> ← 固定負債	299	250
負債合計	1,920	1,769
■純資産の部		
株主資本	7,771	8,046
資本金	2,354	2,354
資本剰余金	2,444	2,535
利益剰余金	4,012	4,148
自己株式	△1,040	△990
その他の包括利益累計額	374	344
新株予約権	3	2
非支配株主持分	706	592
<b>6</b> ← 純資産合計	8,855	8,985
負債純資産合計	10,776	10,755

**6** 資本剰余金90百万円、利益剰余金135百万円が、それぞれ増加し、自己株式49百万円、その他有価証券評価差額金30百万円、非支配株主持分113百万円が、それぞれ減少した結果、129百万円増加し8,985百万円となりました。

## 当第2四半期の業績について（連結）

### キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

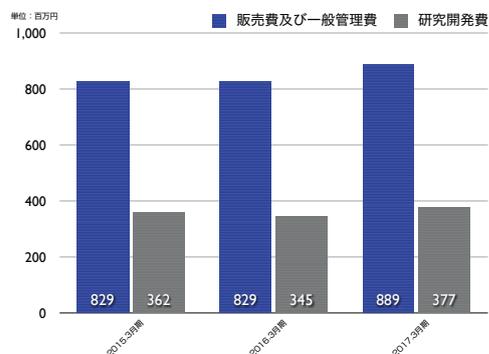
科目	前期 2015年4月1日～ 2015年9月30日	当期 2016年4月1日～ 2016年9月30日
7 営業活動による キャッシュ・フロー	116	289
8 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 25	△ 200
9 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 49	△ 107
現金及び現金同等物の 増減額	40	△ 18
現金及び現金同等物の 期首残高	2,381	2,352
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,422	2,333

**7** 営業活動によるキャッシュ・フロー  
289百万円の増加となりました。主に、税金等調整前四半期純利益および減価償却費の計上、売上債権の減少、たな卸資産の減少等の増加要因が、未払消費税等の減少、法人税等の支払等の減少要因を上回ったことによる増加となります。

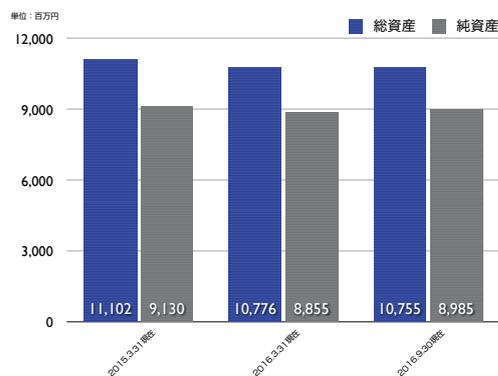
**8** 投資活動によるキャッシュ・フロー  
200百万円の減少となりました。主に、定期預金の払戻による収入等の増加要因を、定期預金の預入、有形固定資産および投資有価証券の取得等の減少要因が上回ったことによる減少となります。

**9** 財務活動によるキャッシュ・フロー  
107百万円の減少となりました。主に、自己株式の売却による収入といった増加要因を、配当金の支払、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出、長期借入金の返済による支出等の減少要因が上回ったことによる減少となります。

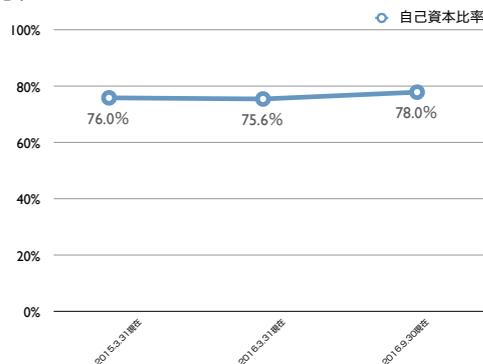
### 販売費及び一般管理費 / 研究開発費



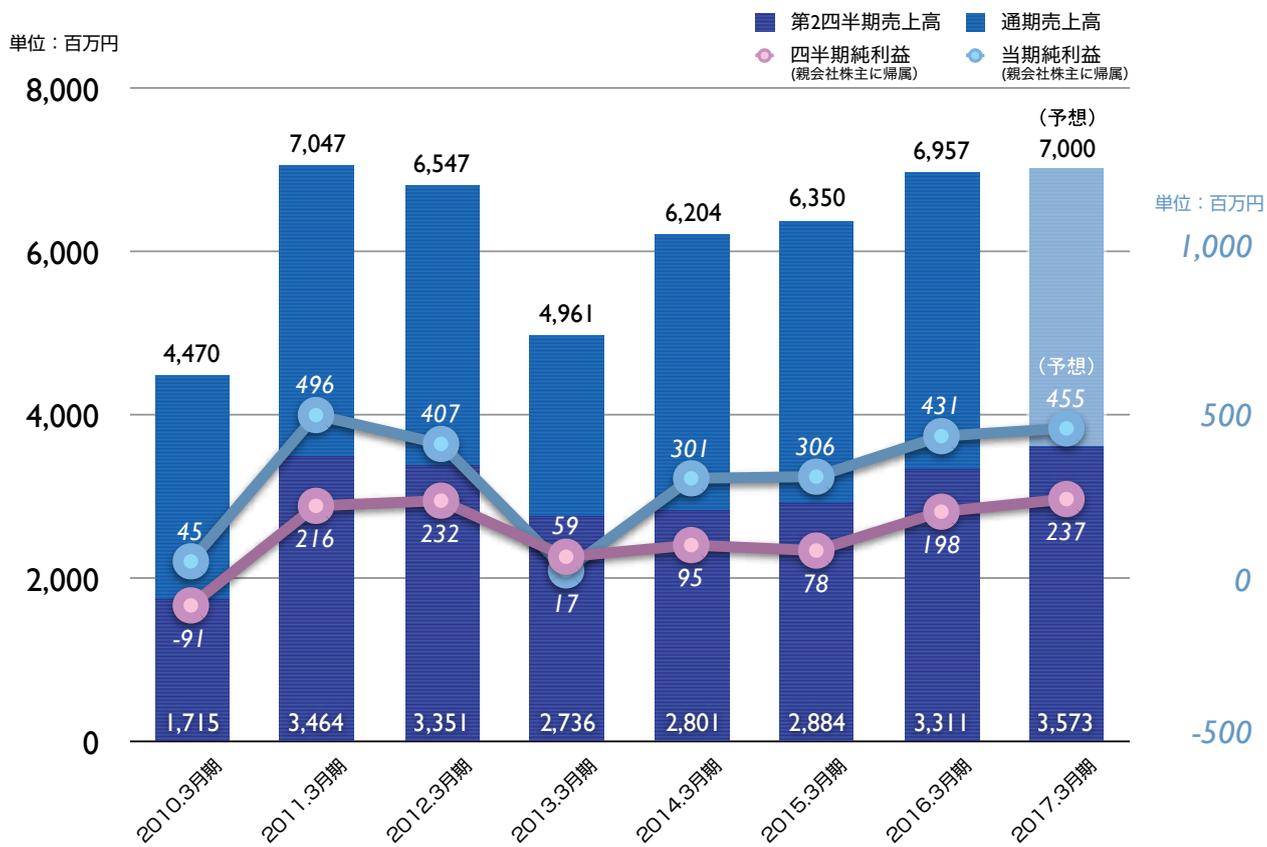
### 総資産 / 純資産



### 自己資本比率



■売上高 / 純利益



## 当第2四半期の概況

当社グループでは、事業内容を受託製品と自社製品の2つの報告セグメントに分けております。

### 1. 受託製品

当該セグメントは、半導体製造装置関連、産業用制御機器および計測機器の開発・製造・販売を行っております。半導体製造装置関連市場におきましては、大手半導体メーカーの設備投資が継続しており、また、産業用制御機器では、従来顧客に加え、新規顧客の営業展開が進んだことにより、堅調に推移しております。

この結果、売上高は2,439百万円(前年同期比11.1%増)、セグメント営業利益は382百万円(前年同期比36.5%増)となりました。

#### ■ 受託製品 半導体製造装置関連

半導体製造装置の制御部を提供しております。大手半導体メーカーの3D-NAND向け設備投資が続く中、半導体製造装置関連全般において売上高は増加し、1,487百万円(前年同期比10.1%増)となりました。

#### ■ 受託製品 産業用制御機器

各種の産業用装置、社会インフラ関連の制御部の開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。産業用装置の新規展開が順調に進んだことに加え、社会インフラ関連が堅調であったため、売上高は大幅に増加し、467百万円(前年同期比42.5%増)となりました。

#### ■ 受託製品 計測機器

各種計測機器のコントローラ、通信機器の制御部の開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。各種計測機器の需要は回復傾向にありますが、省エネ関連機器の一段落により、売上高は減少し、485百万円(前年同期比6.1%減)となりました。



CoaXPress画像入力ボード  
APX-3636

一度に6台のカメラを接続できる  
CoaXPress画像入力ボード

### 2. 自社製品

当該セグメントは、組込みモジュール、画像処理モジュールおよび計測通信機器の開発・製造・販売並びにこれらに付属する周辺機器およびソフトウェア等の自社製品関連商品の販売を行っております。全般的な産業用装置における設備投資は回復基調にあり、加えて新分野への開拓も順調に進み、自社製品全体で順調に推移しました。

この結果、売上高は1,134百万円(前年同期比1.7%増)、セグメント営業利益は206百万円(前年同期比10.1%減)となりました。

#### ■ 組込みモジュール

半導体製造装置、FA全般、電力・通信関連向けに提供しております。FA全般および医療機器関連における新規受注が堅調に推移し、売上高は増加し、209百万円(前年同期比3.9%増)となりました。

#### ■ 画像処理モジュール

FA全般、各種検査装置、液晶関連機器に提供しております。各種検査装置においては積極的な新製品開発の推進に加え、食品、医薬品などの新分野の開拓も順調に進み、売上高は増加し、422百万円(前年同期比10.6%増)となりました。

#### ■ 計測通信機器

超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」シリーズ、FAXサーバ・コールセンター向けCTI(Computer Telephony Integration)・リモート監視機器およびスマート電源装置を提供しております。「GiGA CHANNEL」シリーズ関連は、新規検査装置向けの開拓が順調に進みましたが、CTI関連の需要が一巡したため、売上高は減少し、389百万円(前年同期比7.7%減)となりました。

### ■ 自社製品関連商品

自社製品の販売促進とシステム販売による高付加価値化を図るため、ソフトウェアおよび付属の周辺機器を提供しております。自社製品全般において堅調であったため、売上高は増加し、112百万円(前年同期比2.9%増)となりました。



広域近赤外線ラインセンサカメラ  
ABL-005WIR  
検出波長帯900nm～2550nm  
512画素、ピクセルサイズ25ミクロンの  
InGaAsラインセンサ採用

## 第58期第2四半期に出展したおもな展示会

### Chainplas2016

2016年4月25日～28日(Shanghai New International Expo Centre)

### 第19回 組込みシステム開発技術展

2016年5月11日～13日(東京ビッグサイト)

### 第8回データセンター展春

2016年5月11日～13日(東京ビッグサイト)

### OPIE'16

2016年5月18日～20日(パシフィコ横浜)

### 画像センシング展2016

2016年6月8日～10日(パシフィコ横浜)

### Cloud Days 名古屋 2016

2016年6月16日～17日(名古屋国際会議場)

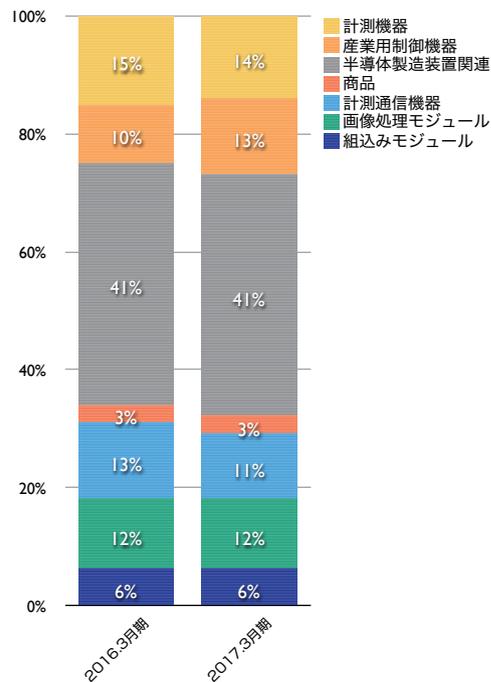
### 組込み総合技術展関西(ET west) 2016

2016年7月7日～8日(グランフロント大阪)

### Smart Energy Osaka 2016

2016年7月7日～8日(グランフロント大阪)

## ■ 第2四半期売上構成比率(前年同期との比較)



### 赤外線アレイセンサフォーラム 2016

2016年7月29日(立命館大学大阪いばらきキャンパス)

### 第3回関西スマートグリッドEXPO

2016年9月7日～9月9日(インテックス大阪)

### InterOpto 2016

2016年9月14日～16日(パシフィコ横浜)

画像センシング展2016



Chainplas2016



## 株式の状況 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数	23,500,000株
株式の種類	普通株式
発行済株式の総数	7,417,842株
株主数	2,174名
単元株式数	100株

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月開催		
基準日	定時株主総会の議決権	毎年3月31日	
	期末配当金	毎年3月31日	
	中間配当金	毎年9月30日	

## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数
株式会社ニコン	646,700株
アパールグループ社員持株会	377,814株
御船 滋	350,000株
奥村龍昭	237,000株
嶋村 清	193,500株
株式会社アクセル	160,000株
株式会社日本マイクロニクス	119,600株
クレディ・スイス・セキュリティーズ(ヨーロッパ)リミテッド ピービーオムニバス クライアント アカウント	116,000株
レーザーテック株式会社	109,500株
奥村秀樹	108,700株

## 当社のIRに関して

当社は、投資家の皆様に、広く当社をご理解いただくため、適切な情報開示に努め、さらにIR活動の充実を目指しております。

株主様をはじめ個人投資家の皆様には、工場見学会、決算説明会の開催をとおして、当社及び当社製品についてのご理解を深めていただくことを心掛けております。

またアナリスト、機関投資家向け決算説明会を年2回定期的に開催し当社の経営状況について経営者より直接ご説明をさせていただいております。

決算説明会



## 決算説明会、工場見学会

2016年5月19日	2016年3月期決算説明会開催 ：三菱ビル10階エムプラス
2016年11月18日	2017年3月期第2四半期決算説明会・工場見学会開催 ：当社厚木事業所

商号	株式会社アバールデータ
資本金	23億5,409万円
設立年月日	1959年(昭和34年)8月
社員数	171名(2016年9月30日現在)
事業内容	一般通信機器の製造販売、工業用計測器並びに工業用制御装置の製造販売、物理、化学、医学用等の電子装置の製造販売、その他の各種電子応用装置の製造販売
役員	代表取締役社長 広光 勲
	常務取締役 仲山典邦
	常務取締役 菊地 豊
	取締役 嶋村 清
	取締役 河合芳道
	常勤監査役 大塚忠彦
	監査役 金子健紀
	監査役 金澤健一



アバールデータの経営理念、AVALue<sup>+</sup>（エー・バリュー・プラス）とは、それぞれ以下の頭文字を、加えて生まれた造語です。AVAL:「Available:有用性」から付けられた当社の社名AVAL。そのうえA'には:技術の「Advance:先進性」、その品質の「Assure:保証」、サービスや対応の「Agile:早さ」など様々な「価値」の意味を表しています。u:私たちの会社の理念「顧客を第一に考える」の姿勢(u[user oriented]) e:「エレクトロニクス」に代表される当社の技術(e[e-solution])。そして+:にはAVALueを進める推進力として社員一人一人が持っている潜在力を一つのベクトルにあわせて働きかけ加速させ、いつでもお客様に必要な価値を追及し提供する決意を表しています。

---

商号	株式会社アバール長崎
資本金	1億3,400万円
設立年月日	1987年(昭和62年)11月
社員数	119名(2016年9月30日現在)
事業内容	電子機器の開発・設計・製造・販売(SE電源装置、CTI関連機器、半導体製造装置、画像処理機器、計測制御機器、通信関連機器、カスタム設計、FAコンピュータの研究開発・設計・製造・販売)
代表者	代表取締役社長 川浪義光

## 株式事務のご案内

株主名簿管理人および 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

各種お問合せ先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

### 公告方法

電子公告の方法により行います。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

当社のWebサイトアドレス<http://www.avaldata.co.jp>

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社等にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

配当金計算書について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。

確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

## 株式会社アバールデータ

〒194-0023 東京都町田市旭町 1-25-10

TEL042-732-1000 FAX042-732-1022

<http://www.avaldata.co.jp>

